

決算委員会

委員一覧 (30名)

委員長	小川 敏夫 (民主)	風間 直樹 (民主)	塚田 一郎 (自民)
理事	神本 美恵子 (民主)	金子 恵美 (民主)	西島 英利 (自民)
理事	藤本 祐司 (民主)	川崎 稔 (民主)	野村 哲郎 (自民)
理事	柳澤 光美 (民主)	行田 邦子 (民主)	牧野 たかお (自民)
理事	浅野 勝人 (自民)	外山 斎 (民主)	松村 祥史 (自民)
理事	中村 博彦 (自民)	舟山 康江 (民主)	丸山 和也 (自民)
理事	荒木 清寛 (公明)	牧山 ひろえ (民主)	遠山 清彦 (公明)
	梅村 聡 (民主)	愛知 治郎 (自民)	浜田 昌良 (公明)
	大久保 勉 (民主)	石井 みどり (自民)	仁比 聡平 (共産)
	加藤 敏幸 (民主)	衛藤 晟一 (自民)	又市 征治 (社民)

(19. 10. 23 現在)

(1) 審議概観

第168回国会において本委員会に付託された案件は、平成十八年度決算外2件である。また、国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査を行った。

〔決算の審査〕

平成十八年度決算及び国有財産関係2件は、平成19年11月20日に提出された。このうち平成十八年度決算については、11月26日の福田内閣総理大臣以下全大臣出席の本会議において、額賀財務大臣からその概要報告を受け、質疑を行った後、同日委員会に付託され、平成十八年度国有財産関係2件についても、同日、委員会に付託された。

委員会においては、11月26日、額賀財務大臣から平成十八年度決算外2件の概要説明を、大塚会計検査院長から平成十八年度決算検査報告及び平成十八年度国有財産検査報告の概要説明をそれぞれ聴取した。

12月10日、福田内閣総理大臣以下全大臣の出席を得て全般質疑を行った。

今国会行われた質疑の主な項目は、①公文書等の保存及び情報公開の在り方、②薬害肝炎被害者救済への対応方針、③防衛装備品調達に係る過大請求問題、④19年度補正予算及び20年度予算編成の基本方針、⑤特別会計の積立金及び剰余金の活用などである。

〔国政調査等〕

平成19年10月23日、国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査のうち、国会法第105条の規定に基づく本委員会からの会計検査の要請に対する結果報告に関する件及び会計検査院法第30条の2の規定に基づく報告に関する件について大塚会計検査院長から説明を聴取し、これを受けて10月29日、11月19日の2日間、両件を議題とし、質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成19年10月23日（火）（第1回）

- 理事の選任及び補欠選任を行った。
- 国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査を行うことを決定した。
- 国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査のうち、国会法第105条の規定に基づく本委員会からの会計検査の要請に対する結果報告に関する件及び会計検査院法第30条の2の規定に基づく報告に関する件について大塚会計検査院長から説明を聞いた。

○平成19年10月29日（月）（第2回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査のうち、国会法第105条の規定に基づく本委員会からの会計検査の要請に対する結果報告に関する件及び会計検査院法第30条の2の規定に基づく報告に関する件について増田総務大臣、町村内閣官房長官、渡辺国務大臣、石破防衛大臣、高村外務大臣、舛添厚生労働大臣、若林農林水産大臣、冬柴国土交通大臣、岸田内閣府特命担当大臣、額賀財務大臣、渡海文部科学大臣、木村外務副大臣、岸厚生労働副大臣、大塚会計検査院長、政府参考人、会計検査院当局、参考人日本放送協会会長橋本元一君、同協会理事畠山博治君、同協会理事溝口明秀君及び独立行政法人国際協力機構理事上田善久君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕柳澤光美君（民主）、加藤敏幸君（民主）、藤本祐司君（民主）、大久保勉君（民主）、愛知治郎君（自民）、西島英利君（自民）、野村哲郎君（自民）、遠山清彦君（公明）、仁比聡平君（共産）、又市征治君（社民）

○平成19年11月19日（月）（第3回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査のうち、国会法第105条の規定に基づく本委員会からの会計検査の要請に対する結果報告に関する件及び会計検査院法第30条の2の規定に基づく報告に関する件について石破防衛大臣、額賀財務大臣、町村内閣官房長官、渡辺国務大臣、渡海文部科学大臣、増田総務大臣、舛添厚生労働大臣、木村外務副大臣、山本内閣府副大臣、森山財務副大臣、政府参考人、会計検査院当局、参考人日本放送協会会長橋本元一君及び独立行政法人国際協力機構理事上田善久君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕大久保勉君（民主）、白眞勲君（民主）、石井みどり君（自民）、塚田一郎君（自民）、丸山和也君（自民）、浜田昌良君（公明）、大門実紀史君（共産）、又市征治君（社民）

○平成19年11月26日（月）（第4回）

- 平成十八年度一般会計歳入歳出決算、平成十八年度特別会計歳入歳出決算、平成十八

年度国税収納金整理資金受払計算書、平成十八年度政府関係機関決算書
平成十八年度国有財産増減及び現在額総計算書
平成十八年度国有財産無償貸付状況総計算書

以上3件について額賀財務大臣から説明を聴いた後、会計検査院の検査報告について大塚会計検査院長から説明を聴いた。

○平成19年12月10日（月）（第5回）— 全般質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成十八年度決算外2件について福田内閣総理大臣、額賀財務大臣、舛添厚生労働大臣、高村外務大臣、石破防衛大臣、町村内閣官房長官、鳩山法務大臣、大田内閣府特命担当大臣、冬柴国土交通大臣、渡辺国務大臣、増田国務大臣、甘利経済産業大臣、若林農林水産大臣、大塚会計検査院長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕藤本祐司君（民主）、※福山哲郎君（民主）、※加藤敏幸君（民主）、浅野勝人君（自民）、※中村博彦君（自民）、※松村祥史君（自民）、松あきら君（公明）、※魚住裕一郎君（公明）、仁比聡平君（共産）、又市征治君（社民）
※関連質疑

○平成20年1月15日（火）（第6回）

- 国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査のため、会計検査及びその結果の報告を求めることを決定した。
- 平成十八年度決算外2件の継続審査要求書を提出することを決定した。

（3）決算の概要

平成十八年度一般会計歳入歳出決算、平成十八年度特別会計歳入歳出決算、平成十八年度国税収納金整理資金受払計算書、平成十八年度政府関係機関決算書

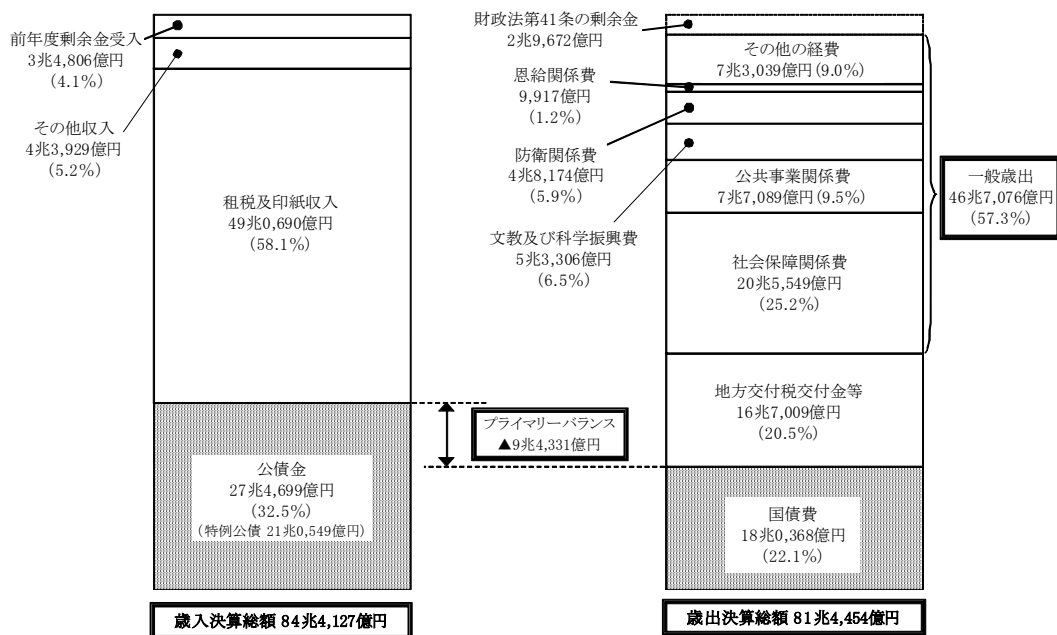
平成十八年度一般会計歳入歳出決算における歳入決算額は84兆4,127億円、歳出決算額は81兆4,454億円であり、差引き2兆9,672億円の剰余を生じた。この剰余金は財政法第41条の規定により、平成十九年度一般会計歳入に繰り入れられた。なお、財政法第6条の純剰余金は8,286億円である。

平成十八年度特別会計歳入歳出決算における31の各特別会計の収納済歳入額を合計した歳入決算額は501兆5,363億円、支出済歳出額を合計した歳出決算額は450兆5,795億円である。

平成十八年度国税収納金整理資金受払計算書における資金への収納済額は63兆6,670億円であり、資金からの一般会計等の歳入への組入額等は62兆8,614億円であるため、差引き8,056億円の剰余を生じた。

平成十八年度政府関係機関決算書における8機関の収入済額を合計した収入決算額は4兆5,031億円、支出済額を合計した支出決算額は3兆7,927億円である。

〈平成十八年度一般会計歳入歳出決算の概要〉



(注) 財政法第41条の剰余金の内訳は、19年度への繰越額2兆1,351億円、17年度までに発生した剰余金の使用残額0億円、地方交付税交付金等特定財源増▲34億円、財政法第6条の純剰余8,286億円である。
(資料)「平成18年度 決算の説明」より作成

平成十八年度国有財産増減及び現在額総計算書

平成十八年度国有財産増減及び現在額総計算書における18年度中の国有財産の差引純増加額は21兆5,553億円、18年度末現在額は106兆7,568億円である。

平成十八年度国有財産無償貸付状況総計算書

平成十八年度国有財産無償貸付状況総計算書における18年度中の国有財産の無償貸付の差引純増加額は97億円、18年度末現在額は1兆841億円である。